



GO
for IT!



GO!GO!



チャレンジトリップ



2023



— 行ってみよう やってみよう —

児童養護施設一関藤の園 令和5年度進学支援寄附金給付事業



LET'S GO

ADVENTURE



make your
own
ADVENTURE



GO! GO! CHALLENGE TRIP 2023

みなさんの目指す未来をみなさん自身が実現する力を育むことを
意図してこの事業を行います。

たくさんの方々からのご寄付があつてこの事業が行われます。

行きたいところはどこですか？

3つのミッションがあるよ！

MISSION①

今まで行ったことのない場所へ行き
楽しんでくる。

MISSION②

たくさんのチャレンジ
面白いチャレンジを
してみる。
(子どもも大人も)

MISSION③

やってみたチャレンジ
そこでつかったこと
体験をみんなに
シェアする。



参加者 藤の園の子どもたち全員

期 間 令和6年1月31日までに完了

予 算 進学支援寄附金より
一人 5万5千円以内

約束手

- ・子どもが企画し実行すること。
- ・あいさつをしっかり行い、礼儀をわきまえた行動をすること。
- ・みんな、無事帰ってくることを。

場 所 世界中どこでもOK

令和5年度 進学支援寄附金給付事業実施要項

令和5年7月19日

1 意図

子どもたちが社会の中で自ら考え選択し実践する体験を通して自分の可能性を広げ、様々なことにチャレンジする心、想像力、創造力、他者を思いやる心、生きる力を育む。

2 内容

「GO!GO!チャレンジトリップ2023 ～行ってみよう、やってみよう～」

ミッション①今まで行ったことのない場所へ行き、楽しんでくる。

ミッション②たくさんのチャレンジ、面白いチャレンジを試してみる。(子どもも職員も)

ミッション③やってみたチャレンジ、そこで得たもの、体験をみんなにシェアする。

※子ども、職員はそれぞれ別紙起案書にて遅くとも実施3週間前までに起案すること。

※子ども、職員はそれぞれ別紙報告書にて報告すること。(発表会も実施します)

3 対象者

入所児童全員

※一人1回(子ども、職員)、基本はホーム単位で実施、高校3年生以上は一人でも可

4 期間

令和6年1月末までに完了すること。

5 費用

進学支援寄附金より一人5万5千円以内(引率職員も含む)

6 場所

国内外問わず自由

7 実施にあたっての約束事・推薦事

<約束事>

- ・子どもが企画立案実行すること。
- ・挨拶をしっかり行い、礼儀をわきまえた行動をすること。
- ・全員、無事帰園すること。

<推薦事>

- ・職員は子どもから出てきた行ってみたい、やってみたいを否定や評価、判断をせず、まずは乗っかってみる。できるかも、行けるかもと思ってみる。
- ・職員は子どもが自分自身でこれをやったんだ、と思えるような役割をする。
- ・成功することも失敗することも予想外のことが起きることも許容する。

職員たちの声

「子どもたちに行きたい場所、やりたいことを問いかけてもなかなか決まらず、職員で決めてしまおうと思っていたとき、一人の中学生がパソコンを貸して欲しいと声をかけてきました。何に使うのかなと考えていると、計画書の作り方を教えて欲しいと話します。交通費、食費、宿泊費など細かく調べ、計画書を作り上げました。行き先は宮城県方面へ決定。その子どもに後々話を聞くと、ホームの皆に一人ずつ声をかけ、希望を聞いてまとめたと話します。その姿に驚きと喜びを感じました。

「美味しいものを食べたり、職員、子どもが朝まで語りあったりと、普段ではできない関わりができたのではないかと思います。」

「1泊2日でディズニーシーと東京駅観光をしてきました。そして楽しい時間の中で各自チャレンジに取り組みました。ある子は外国の方に話しかけるチャレンジを立て、ディズニーにて挑戦。バスに乗りながら手を振って元気に「ハロー！」すると外国の方からもニコリ笑顔で返事をもらうことができました。

「ディズニーや新幹線が初めての子が多く、見るもの全てにワクワクが溢れる姿がとても印象に残っています。色々なことを初めて、を体験できたことで、自信につながったのではないのでしょうか。今後も子どもたちに沢山の体験をしてほしいと思います。」

「1泊2日でディズニーランドと東京駅散策に行ってきました。いつもは職員が計画して行う旅行やお出掛け。子ども達が計画を進める中で旅費を出してもらって代わりに自分たちにできることはと考え、今まで以上に節水・節電を頑張りました。旅行中は全力で楽しみながらも、一人一人が決めたミッションを意識して実りある2日間となりました。

「願いが形となる経験、納得するまで話し合ったこと、慣れない土地で協力し合って楽しんだこと、子ども達のキラキラした目、笑顔、職員・子ども達にとってすべてが良い経験、刺激となりました。」

子どもたちの声

「今まで新型コロナウイルスが流行しており、あまり行事や外出を行うことができませんでした。ホーム単位で、予算内で自分たちで計画を立てて旅行に行くことになったので、私たちのホームでは仙台市へ行って市内の散策や仙台の名物を食べて帰ってくることにしました。

はじめてインターネットでホテルを予約したので、本当に宿泊できるかどうか不安でしたが、ちゃんと予約できて宿泊できて良かったです。

来年は新型コロナウイルスが減っていくと思うのでたくさん行事ができると思います。寄附金をくださった皆さま方に心から感謝いたします。(A.T)」

「皆様からの寄附金を活用して、中高生が主体となり、行きたい場所、その場所までの生き方、タイムスケジュールなど、すべてを子どもたちで計画して旅行へ行くという GO!GO!チャレンジ Trip を行いました。

私のホームは1泊2日でディズニーランド、東京駅散策に行きました。当初の予定では2日目は浅草観光へ行く予定でしたが雨天のため東京駅散策に変更しました。

この1泊2日の旅行を通して自分たちで計画して行事を行うことの大変さ、そしてすべてが計画した通りに実行できるわけではないこと、実行できないときは臨機応変に対応しなければならないことを学びました。(T・Y)」

「私たちは、仙台に行きました。仙台ではそれぞれ観光や買い物などを楽しみました。

私は見たいものや欲しいものがなかったので仙台駅で休んでいました。

行き交う人々を眺めながらやはり仙台は人が多く、歩いているだけで疲れるなと思いました。

そして、人は慣れた環境が一番落ち着くのだと改めて感じた瞬間でした。

この旅の中で一番大変だったことはそれぞれ考えることが同じではないので誰かが妥協しなければ先に進めない問題に対応すること、集合場所や時間をきちんと確認することでした。少人数での行動とはいえ、一つが崩れてしまうと連鎖的に崩れてしまうのでここは反省するところでした。

うまくいかないこともありましたがホームの全員で楽しく学びのある旅にできてよかったと思います。

ありがとうございました。(O・H)」

今回の試み、子どもたちは自分で選択し、実行をする。という体験を通して、いろいろな感覚があったと思います。思った通りにできなかったこと、みんな違う考えを持っているということ、初めてのことにチャレンジするときに湧いてくる不安や怖さ、ドキドキ、ワクワク。みんなで一つのことに取り組むことの達成感。それらに良い悪いはなく、かけがえのない自分で掴んだ体験、気づきだったのではと感じています。自分で選んで、行動して、その結果を引き受ける。ということを通して自由と責任といったことも学んだかもしれません。

また、職員にとってもチャレンジな体験だったのではないのでしょうか。子どもたちは自分たちで決めることができるのか、失敗させたくない…。自分たちでやってしまった方がよっぽど楽なことだったでしょう。子どもたちへの信頼、成長のプロセスを見守ること、そんなことも得られたのかもしれません。

何ごともやってみないことには手ごたえも何もわからない！チャレンジした自分たちを承認し、そして日々生きる中で出会うチャレンジをウェルカムする藤の園でありたいなと感じました。

このような機会をいただきましたこと、本当にありがとうございました。